

## 市の人口

1月末現在

総人口 53,909 (9増)

男 26,860 (37増)

女 27,049 (28減)

世帯数 16,294 (20増)

( )内は前月との比較増減



## ちよっぴり緊張

### 新入学 児童の健康診断

いよいよ四月から新入学、お父さんが元気に一年生に入學するのはまことに楽しいものです。特に初めての場合は、一月ごろからそろそろランドセル売場が目向き、そわそわしたりするもの

です。今春、新一年生に入學する児童は、市内に約六百五十人います。この子供たちが、毎日元気で通學するために、入学前の健康診断を行なっていますが、今年も二月

二日から市内四カ所で、歯や耳、視力と簡単な内科の検診を行いました。お母さんに連れられて来た子供たちの表情は、ちよっぴり緊張気味で、お医者さんの前に座ると、モジモジしながら落ち着きのない顔になり、なかには半べその子供もいたり、それでも、無事に診察が終ると、苦手なお医者さんから

解放され、いつものワンパクぶりを発揮して、お母さんを手こずらせていました。入学すると、今までと違って休めばそれだけ遅れるし、本人にとってもなかなかつらいことです。中耳炎や虫歯、テレビによる弱視や近視は、早目に治療をしましょう。そして健康に自信をもって通學できるようにしておきたいものです。



# 今年は何にを……手厚く市民に見積り進む新予算

## “宅地”“娯楽センター”など新しいころみ

### 田村市長が決断

市では、いま、市民のための昭和五十三年度予算づくりが新らしく進められています。ところが、「その内容は、どんなものでしょうか……」といった電話が、市民各層から再三寄せられていますので、今のところ予算の編成中ではあります。が、とりあえず主なものを、ごくおおざっぱに、特集、することにしました。

### “市民娯楽センター”を

#### 囲碁、将棋、玉つき場



囲碁・将棋・マーチャン・玉突きなど、市民おたがいが一定の場所集り、交流を深めながら日頃の趣味、関心を通じて楽しく余暇をすごすことは、人間として、明日への糧に大切です。一昨年間設された「市民囲碁道場」では、勤労者や老人の利用が年々増える一方なので、市ではこのような市民の動行、希望をかなえるため、種目も増やして、「室内レジャー・コミュニケーションセンター」を新しくつくりたいと考えています。

### みんなのスポーツ祭を

#### 十月十日を中心

新年度から毎年の十月十日（体育の日）を中心に、老若男女誰もが進んで参加できる、スポーツ祭の構想をたてています。この目的は、市民こそってスポーツを愛し、健康で明るさがみなぎる若々しいまちの風を打ち立てるため、みんなが手をつなぎ輪になろう……ということです。その方法は、市内各種のスポーツ



### 市民のスポーツを励ます基金

#### 「五年計画」で全面援助を

登別の青少年市民がスポーツ競技に勝ち進み、全道全国各地の大会に参加して力をつけていること、市町村に比べて特に力を入れてきました。しかし生徒の遠征費などは、

### “ガラクタ”子供公園

#### こわして……組立て色塗りも……自由

「そうすると危い」「こうしたら駄目……」と、のびのびとした子供達の遊びや規制が多くなっています。私達の「子供時代」に比べてみて、こんな世相だと思いませんか。



市では、幌別、鷺別、登別地区などの公園の一部に、乗合バス・消防自動車・電化機器などの廃品を並べて、「こわすも自由」、組み立てるも自由、色を塗るのも自由、な、思いきり遊べる「ガラクタ子供公園」はどうでしょうか……と、子供達のためいろいろとチエをほっています。

### バス付公住一ニ〇戸 学校・総合運動公園など “生活福祉”が中心 雇用不安の対策事業も

#### 建てても建てても

#### 学校が……

#### 今年の整備は五校

これまでの登別から、新しい登別へ向けて、古くなった学校、せまくなった校舎、がギリギリのときまでできています。学校の建て替えには大金がかかりますが、田村市政では何としても、財源を工面して少しでも早く、この大事業をやり遂げたいと考えています。そこで新年度は、西小・幌小



カットは都市計画課 松崎留雄氏提供

花鳥や庭のあるマイホーム。を建てるためには、土地が百坪前後はほしいものです。そこで市は新年度から、まず柏木町に百戸分の宅地を造成し、※レンタル方式で市民の希望にそって「分譲計画」をたてています。

### 空気とみどりの柏木町で 宅地“百戸分”原価で

※レンタル方式とは、現在市には手持ちの分譲用地はありませんので、地主から適地を借り受けて市が造成工事を行い、宅地として必要な各種の条件を備えてから、これを市民に、また貸し。する賃貸制度です。この方式によると、



# 市長動静

1月12日～2月8日

1月12日＝登別観光協会役員と面会。年頭あいさつを受ける。同13日＝全胆振地区労センター議長事務局長会議に出席。歓迎あいさつを述べる。同14日＝登別温泉地区視察を行なう。同15日＝成人式に出席。新成人のお祝いと激励の辞を述べる。引き続き身体障害者福祉協会登別支部並びに室蘭医師会々合に出席。同16日＝常盤婦人研修の家落成式並びに登別富士郵便局落成祝賀会に出席。祝詞を述べる。同17日＝室蘭生活協同組合から市民会館建設基金の寄贈を受ける。登別地区労役員と面会。老人医療無料化問題について懇談。午後、室蘭市役所において西胆振成人病予防組合例月監査を執行。夜、市内小中学校校長並びに教育委員との懇談会に出席。文教問題について懇談する。同18日＝第1回臨時市議会を招集。同19日＝室蘭市内官公庁あいさつまわりを行なう。同20日＝道の都市計画課長の米庁を受け、都市計画問題等について懇談する。同21日＝上京の際要請事項について幹部職員と打ち合わせを行なう。同22日＝老人憩の家三恵園落成式に出席。引き続き登別市民生委員協議会々合に出席。同23日＝老人クラブ連合会々合に出席。午後、懸案事項の再度要請等のため上京（～26日）。同27日＝幹部職員への上京の結果報告並びに事務打ち合わせを行なう。同28日＝室蘭市内官公庁その他関係機関へあいさつまわりを行なう。同29日＝登別剣道連盟主催第二回優秀剣士表彰式に出席。同連盟の努力をたたえるとともに受賞者を祝福する。同30日＝先に登別地区労から提出のあった「命と暮らしを守る要望書」の各項目について地区労代表者と懇談。

登別地区労との懇談会



同31日＝新年度予算案について幹部職員と最終打ち合わせを行なう。2月1日＝市役所1階ホールにおいて成田山滝泉寺住職により、厄払い並びに一定早い節分の豆まきを行ない市民の幸福を祈願。千歳町内会代表から水道設置に関する陳情を受ける。同2日＝室蘭市役所で行なわれた、北海道南回り新幹線鉄道建設促進期成会役員会に出席。同3日＝第7回登別温泉まつりに出席。同4日＝3月定例議会にともなう案件について担当職員と打ち合わせを行なう。同5日＝北海道全調理師会室蘭支部登別分会々合に出席。同6日＝檜崎建設機から市民会館建設基金並びに社会福祉基金の寄贈を受ける。同7日＝定例記者会見を行ない、新年度予算案等について発表する。同8日＝日胆地区農協婦人部研修大会に出席。参加者を激励する。

育所  
明るい遊戯室で元気がいっぱいの子供。昨年開所した登別温泉保養



若草小・富岸小・温泉中の六校を整備するため、工事にかける予定

全校にピアノ・エレクトーン  
視聴覚教室も

「登別で子供を育てて、ほんとうによかった」と、親子・先生が共に手を取り合って喜ぶために……、市では今年から二年計画で、最新の教具教材が購入できるよう予算の盛り付けに努力しています。ピアノ・エレクトーンなどの楽器をはじめ、視聴覚教育用の電気電波器具も、各学校に配備して他の都市に負けない、よい教育、環境づくりをめざします。

続いて五棟を柏木町に  
先生（教員住宅）方にも  
市営・道営の四階建住宅

昭和五十二年度は七棟の建築がもう出来るところなので、今年新しく五棟つくとすれば、全部で十二棟の公住団地が新しく柏木町に生まれることになりました。この団地には、一棟の高さ十三層、長さ五十二層の鉄筋コンクリート四階建、バス・トイレ付二十四戸分のモダンな建物がズラリと建ち

並びますから、周囲の静かで便利な自然環境とマッチして、住みよい公住街になるでしょう。

夢から一書写真

いよいよ着工のめど  
「市立総合運動公園」の建設

若山・青葉両町一帯にまたがる広大な原野、体育館を中心に四十回分の敷地内に、国際試合も出来る陸上競技場、軟式野球場、ラグビー兼サッカー場、テニス・バスケット・バレーボールコート、アイスホッケー・スピードスケートリンク、ゴーカート・ローラースケート場、洋弓場などのほか、フィールド・サイクルアスチレック施設、ピクニック広場、プロムナードを全てセッとした道内に誇る総合運動公園の書写真が完成しています。市はその後、国や北海道など関係機関との間で、いろいろと打ち合わせを進めた結果、いよいよ新年度から年次計画によって、工事にとりかかる方針です。

市民健康センターと  
市民研修センターの開設  
昨年から登別東町に新築中の婦人センターが、この春完成しますが、市ではこの三階に、ベルト・パイプレーター、ツイスト・マシン、ローイング・マシンの

どの体力健康増進機を備えた「健康センター」を開設、一般市民の利用に開放する計画です。また、大自然の景勝地・鉱山町には、市民研修センターを設け、人づくりの道場として広く市民に開放する考えです。

雇用不安の対策事業など

不況下、企業合理化などによって市民の中から失業者が出る心配がありますが、市としても、不安な生活をとり合えず支援するため、希望者に、一定期間の仕事を与え、方法を考えています。また、鉱山町には、附近の川か

市長―市役所がベストをつくした予算に  
財源の四割前後が事業費でのび率も二十割以上

これまでみてきた新予算は、一般会計（福祉・衛生・教育・道路）など市の仕事の大部分を占める中心的な会計を占めて、二割前後（前年当初は八十六億円）以上の金額を増やして見積り、市民の命と暮らしを守りたいと考えています。そのために市役所は、一層工夫して経常的な経費を切りつめ、田村市長がこれまで三年間一貫して続けてきた方針にそって、新年度

も予算総額の三割以上を市民全体のことに、将来のことに気を配った事業に使うため、生き生きとした予算を組みたいと、市長ともども仕上げを急いでいます。この「新予算」は、三月の市議会に提案されますが、市民みなさんの「ご意見の材料」にと広報でとりあげました。どうぞ、活発なご検討とご活用をお願いいたします。

ら水を引いて池をつくり、新年度から、ニジマスの養殖事業をおこして、地域に活気をつけるいとぐちにしたいと考えています。

むすぶ心と心  
老人・母子・身障者へ

今日、明日をみんなてつくる福祉への出発点をめざし「社会福祉協議会」に、事業基金が生まれました。これに市が二千万円、運営資金として別に一千万円を、新たに融資する方針です。このほか、老人クラブ、母子会、身障者、父母の会、遺族会、などの団体についても、三十割から二倍前後の厚い助成アップを考えています。

# まちの話題



**防災協力員が研修会** 市では本年度から、緊急災害を官民一体で防ごうと、全国でもあまり例のない、「防災協力員制度」を発足させましたが、1月23日市消防職員ともども、防災の初歩知識の吸収に努めました。



登別市長賞  
幌別西小二年 堀端さとみさん



登別書道連盟賞  
幌別西小五年 赤平牧子さん

小・中学生書き初め展 登別市文化協会書道連盟と市教育委員会主催の市内小・中学生書き初め展覧会が、このほど開かれましたが、会場の中央公民館二階ホールには受賞作品二百八十一点を含む合計約四百点の力作が展示されました。上位五点の優秀作品を紹介します。



文化協会賞  
幌別西小六年 三好礼子さん



市議会議長賞  
幌別小三年 永沢知誉さん



市教育委員長賞  
幌別中二年 菅野八寿江さん



市民会館の模型できる 市では昭和五十五年の市制施行十周年記念事業として、収容人員三千人の市民会館設計計画をたて、昨年から基金制度を発足させていますがこのほど、模型ができあがり田村市長から披露されました。  
この模型は、まだ本決まりのものではありませんが、ワンフロアの後面座席二千席を、左右それぞれ電動式で回転し、小規模な催しにも活用でき、三つの催しを一つの会館内で行えるといったアイデアを盛り込んだもので、なんとか実現させたいとしています。



**道民スポーツ胆振冬季大会** 2月12日行われたスキー競技大会は、国設カルルス温泉スキー場で、選手約250人が出場、各種目ごとにわがまちの名譽をかけて滑走、激しい競技の結果、登別市が総合優勝、各種目で市内選手が好成績をおさめました。

## 健康メモ

尿で知るあなたの健康



尿の性質と状態を知ることには、体内の臓器の働きを理解し、健康を診断する重要な目安のひとつといえます。

①尿の量：健康な人ならば、水分を多く取った時は淡い多量の尿が排出され、水分を取らず汗をかけた後には黄褐色の濃い尿がでます。このように尿量は、飲食物の量や気温、体動による発汗の多少により変動するものです。(平均的には、一日千〜二千、朝二〜一升前後)、尿量の増す病氣は、糖尿病など、尿量の減る病氣は、腎臓や尿道に異常の起こっていることを示しています。

②尿に血がまじる：血尿といって皆さんがびっくりすることです。腎・尿管・膀胱・尿道のどこかで出血していることを意味していますので、検査を受けて元の病氣を治すことです。また、食事や薬の影響で、尿が赤くなることもありえます。

③尿をすると痛い：男性では尿道炎、女性では膀胱炎が代表的なものです。どちらも細菌が感染して起るのですから、医師から薬をもらい治療すべきです。

ふだん余り気にすることのない排尿に、一度注意をむけてみてはいかがでしょう。

給水の状況

年度	配水量	給水量	有収率	給水区域 内人口	給水 人口	普及率
50	4,032,503	2,996,597	74.31	50,573	46,720	92.38
51	4,051,551	2,984,319	73.66	51,831	48,115	92.83
差	19,048	△12,218	△0.65	1,258	1,395	0.45

職員数の状況

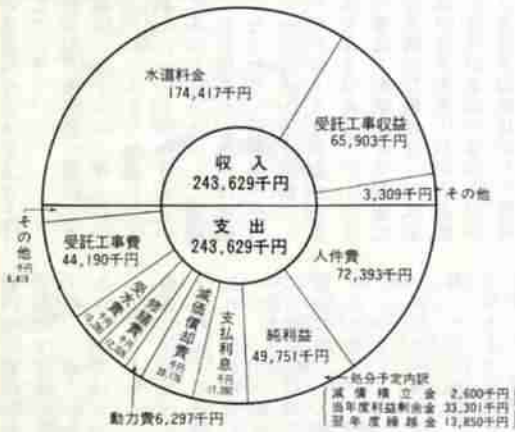
年度	職員数	職員1人当り 給水人口	職員1人当り 給水量
50	32人	1,580人	126,015m <sup>3</sup>
51	34	1,524	87,775
差	2	△ 56	△ 38,240

(本表の職員数には嘱託職員も含まれる)

当年度では営業的収支で純利益49,751千円を上げましたが、設備投資的収支で65,096千円の財源不足が生じたので、一部をこの財源に充当しました。

また営業的収支で、給水単価は1トン当り50円16銭、供給単価は58円44銭でした。

営業的収支グラフ



設備的投資収支グラフ



水道事業  
業会計  
昭和51年度  
決算状況



生活者会議開く 「現在の不況と私たちの暮らし」をテーマに登別市生活学校と道新生活運動協会共催の第6回登別市生活者会議が2月6日、中央公民館で開かれました。会議には、生活学校メンバーや各町内会、行政関係者、業者など約80人が出席、資源回収、物価、プロパンガス料金などの問題と取り組んでいました。

昭和五十一年度登別市水道事業決算が昨年の十二月八日、登別市議会において認定されましたので概要をグラフでお知らせいたします。



洋蘭が花盛り 外はまだ冬景色というのに、市内中登別にある洋蘭園の温室では、シンビジウム、カトレア、胡蝶蘭などの洋蘭が真っ盛りで花開き、札幌方面の市場に出荷されています。

奨学生募集

財団法人登別育英会では、高校大学に在学中の方で、人物、学業ともに優秀であって経済的理由により就学困難な方、ならびに医療従事者育成のために昭和五十三年度の奨学生を次のとおり募集しています。

- 高校、大学奨学生
    - 出願資格・登別市民の子弟・他から奨学金の支給を受けていない方・身体強健・学術優秀・品行方正、思想健全で学資に乏しい方
    - 採用予定人員 高校生十七名、大学生七名
    - 給与月額 高校生三千円、大学生八千円
  - 医療従事者
    - 出願資格・眼科医、耳鼻・咽喉科医を志して、大学の医学部に在学している学生および、医学実習中の研究生・保健婦を志して学校に在学している学生
    - 採用予定人員 医師奨学生・保健婦奨学生いずれも若干名
    - 奨学金の額 医師奨学生月額五万円、保健婦奨学生月額一万五千元
  - 貸与期間 医師奨学生十年以内 保健婦奨学生正規の修業期間
  - 奨学金の返還免除 眼科医、耳鼻咽喉科医として、登別市内に開業または、一年以上勤務した場合・保健婦として登別市に一年以上勤務した場合
- ※ 問い合わせ先 出願の手続きについては登別育英会事務局(市教育委員会内) 電話01143815局2111(内線347)へご連絡ください。
- ※ 願書提出期限 昭和五十三年三月三十一日

# 郷土史探訪

## 登別温泉のなりたちと開発

登別市には東洋一といわれる登別温泉があります。

東洋一はやや誇大ですが、世界の火山国、温泉国である日本の中でも登別温泉の地獄谷・大湯沼とその附近や市街地などからわき出ている一日約八千トンにおよぶ膨大な湯の量や、多くの熱水と硫黄孔からの熱のエネルギー発散量は、一年間で中型火山の大爆発と同じくらいだといわれますから、大変なエネルギー量です。

やはり登別温泉は火山国日本の横綱格であるわけです。

登別温泉の生成は、クッタラ火山と深い関係にあります。

今から約数千万年前に深い地下のマグマが地かくのわれ目を通して地下数千メートルの所で大量の水蒸気と火山ガスをつくり出した。

それが遂に噴出して温度の高い火山灰をふき出し、溶岩の流出を繰り返してクッタラ火山をつくりましたが、やがて陥没して活動の終わった火口に水をたたえてクッタラ湖ができることになりました。

しかし火山活動はこれで終りませんでした。

その後熱エネルギーの貫入しやすかったクッタラの西側に爆裂をおこして、現在熊牧場のある四方嶺や北山、そして今でも水蒸気ガスをふき出している日和山などの寄生火山をつくりました。

有名な地獄谷や大湯沼は爆裂火口のあとで、大湯沼の火口底にはさらに幾つもの小火口跡があると

いわれています。

大湯沼の北西にある日和山は、昭和十一年と同じ生成で、地下から押し上げられてきた珍しい溶岩塔の山です。

それに現在、有珠山の火山活動が活発ですが、洞爺火山が約三万年前から約一万年前までに火山活動をした後陥没して火口に水をたたえてできたのが洞爺湖であるといわれ、数千万年前から活動をしてつくられたクッタラ火山のクッタラ湖にくらべて新しいものです。

有珠山も約一万年前から七、八千年前に洞爺火山の寄生火山として活動をはじめ、その後活動が一時衰えたものの特に数百年前から火山活動は事実の上からも大災害が記録されている比較的新しい火山ですが、登別温泉の日和山などは極めて古い火山で、現在で



現在も活動を続けている地獄谷

も高温の水蒸気やガスをふき上げて活動しています。

もし登別温泉の活動が急に止まったならば、地下エネルギーが大に貯えられ、大きな地震が発生したり新しく火山が噴出するといふ危険にもつながりますし、地獄谷などの温泉地帯のどこかの活動が激しくなったり、活動場所が大きく変わると地下活動のこの油断はできません。

幸いな事に、熱灰石や大泥流による火山災害の記録はなく、大湯沼や地獄谷などの火山活動の最盛期が古い時代のもので、一応現在は有珠火山に比較して落ちついた状況にあるようですがどうでしょうか。

登別温泉が資料の上ではっきりしてくるのは、やはり江戸時代からです。

しかし、ヌプリベツ（色のこい川）の言葉から考えても温泉の白く濁った川の水は、登別川で鮭をとったり山深く鹿や他の動物をとって生活をしてきた登別地方の古からの人々には知られていたでしょうし、有名な金成マツの登別地方にまつわるニューカラの中にも「神のお召しにそむいた若者が、路をあやまつて赤い岩間においている熱湯におちて神の國に昇天した」という文があり、これは登別温泉の地獄谷の情景を思われます。

また、地獄谷や大湯沼などの湯けむりが、温度や風の状況によりホロベツ方面からはっきり見える日があります。

徳内や松浦武四郎の記録にも温泉活動のすさまじさが書かれていますので、遠くから察知することもあったでしょう。

伝説では今から約六百八十年前の永仁四年（一二九六年）に日蓮上人の弟子の日持が蝦夷地布教のおり、登別地方に立ち寄りて題書したという「題目石」や、三年後に日蓮宗の高僧である日進上人が霊験の地として訪れたという話があります。やはり伝説としてのもので、

また今から三百年前の寛文五年（一六六五年）に蝦夷に渡ったといわれている、僧門空が鈍一つで作った「鈍作り観音」が地獄谷に奉置されていることから門空が登別に来たとも思われますが、それから百数十年後に三河国出身の菅江真澄が徒歩と船で有珠方面を回ったときに礼文華の岩倉（岩屋観音の所）に五休、善光寺のお堂に二体の木像を発見して、その一体に「のぼりべつゆのこんげ」と書かれた仏像があったことが記されているので、仏像はこの地方で作られ、登別に円空は来なかったといわれています。

また登別温泉の開拓について特筆すべきこととして、地獄谷と大湯沼からの硫黄の採掘がありました。

登別温泉に硫黄のあった事は千六百年代の松前藩時代から知られており、幕府が直接治めた寛政十一年以降は盛んに採取されたようです。

記録にあるものとして寛政九年（一七九七年）から森瀬屋治兵衛が採掘許可を松前藩から受けて従事しましたが、藩への上納金が高いので途中でやめたことが書か

ていますが、以後幕末、明治、大正、昭和期まで採取が続きま

した。登別温泉の開発では、除くことのできない功績のあった人物がいます。

それは八幡岡田家の岡田半兵衛です。

彼は当時の大場所である、フルビラ（古平）・オタルナイ（小樽）場所の他にホロベツ場所・エトモ場所の請負人をおこなった豪商で、安政五年モロラン会所を二千両で改築し、ホロベツ会所も新築しています。

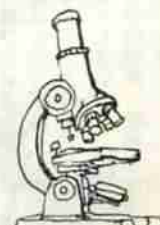
岡田半兵衛はノギリベツ湯元まで新道をつくり、地獄谷・大湯沼周辺に製錬釜をすえ、だら煮製錬法で生産したのでしょう。

一日二十貫たき（約七十五貫）を八釜ほどたいて十二貫入れのカマツにつめ、一頭の馬に二個付けした四・五頭馬でホロベツまで運んだ事が書かれています。

また同時に温泉を開いて、鹿の路といわれている小道を改修し温泉場には湯治人止め宿を二カ所建築しましたが、これらの費用は七百五十両以上という大金を支出したといわれます。

岡田半兵衛による硫黄の生産は結局大損害に終わりましたが、登別温泉を開いて湯治客の家屋を建てばく大な金を支出して登別温泉を世に出した功績は大いにたたえるべきものと思われませんが、岡田半兵衛の名が登別の発展に一つもないのは史実を知る者として誠に残念です。

（登別市郷土文化研究会）



### NHK学園生の募集

NHK学園高等学校では、昭和五十三年度の生徒を募集しています。NHK学園高等学校は、働きながら学ぼうとする方のための通信制高校で、NHKのテレビやラジオの通信講座をもとに、自宅での勉強が中心でレポートの提出や面接指導によって学習がすすめられます。

入学の資格は、本科生は中学校を卒業した人、または同等以上の人で、卒業しますと高校卒業の資格が得られます。

学費は一年間三万一千五百円で教科書、授業料等が含まれています。特科生は、十五歳以上であればなたでも受けることができます。受講料は一科目一年間七千五百円です。科目は五科目まで自由に選ぶことができます。

願書の受付は、本科生は二月十日から三月十五日まで（ただし、三月中旬卒業見込の方は三月三十一日まで）、特科生は二月十日から四月三十日までです。

入学願書ご希望の方は、室蘭市山手町一丁目三番五十五号、NHK室蘭放送局、NHK学園入学係へ本科生、特科生の別を書いてお申し込みください。

# 四十歳以上の方!

なつメロ社交ダンス教室に、参加しませんか

最近、いろいろなところで社交ダンスを踊る機会が多くなってきました。

市教育委員会では、市内に住む四十歳以上の方で、若い時習う機会がなかった方、これから習いたい方を対象に開催します。

夫婦、近所おさそいあい、なつかしのメロディーにのってにぎやかに踊ってみませんか。

最終日には、生バンド演奏による、なつかしのメロディー・特集社交ダンス大会を行います。

- ▽期日 三月十三(月)・十五(水)・十六(木)・十七(金)日の計四回
- ▽時間 午後六時三十分～八時
- ▽会場 中央公民館二階ホール
- ▽講師 登別市文化協会社交ダンス愛好会のみなさん
- ▽種目 ブルース・マンボ
- ▽申し込み期間 三月十一日まで
- ▽申し込み先 市教育委員会社会教育課(電話5局2111内線352)



社交ダンス愛好会々員によるダンス



## 市内小売価格調査結果

市消費生活モニターによる、市内小売価格の1月調査結果が 나왔。野菜は、きゅうり、大根を除いて入荷量の減少により大幅に上昇。生鮮魚貝では、まがれい、さばが上昇となったほか、順調な入荷量を反映して小幅ながら下降傾向を示しました。また、塩さけが高値となったほかは、ほぼ横ばいとなりました。

登別市内の主な品目の価格動向表 1月分

品名	規格・銘柄	単位	高値	安値	市内平均	前月比	前年比	
野	はくさい		13	6	8.3	6.3	131.7	
	きゃべつ		19	5	9.4	8.6	109.3	
	大根		18	7	10.5	13.6	77.2	
	玉ねぎ		17	12	14.4	10.9	132.1	
	きゅうり		65	30	43.2	33.9	127.4	
生鮮魚介	まがれい		150	75	117.5	74.6	157.5	
	さんま		70	30	50.0	52.9	94.5	
	ほっけ		40	15	29.8	31.1	95.8	
	さば		90	30	34.7	28.4	122.2	
	まぐろ	切身(刺食用)	300	150	227.5	235.6	96.6	
	塩さけ	切身	300	120	188.7	165.9	113.7	
菓	餅	中玉、10ヶ入り	1ケース	250	180	212.8	239.9	88.7
食	牛	中、スライスしたもの		600	178	300.6	317.1	94.8
	豚	中、スライスしたもの		170	135	160.1	161.1	99.4
	鶏	若鶏を焼く		90	60	68.2	68.2	100.0
ハ	ム	ブレスハム上座		250	120	154.1	153.8	100.2
ソーセージ	ウインナーソーセージ		170	92	121.6	117.9	103.1	
牛乳	店頭生乳	180ml 1個	45	37	39.1	38.4	101.8	
	加工乳及び乳飲料等を焼く	300ml 1個	119	100	104.1	103.7	100.4	
バター	雪印バター	225g 1個	348	308	322.0	319.0	100.9	

(登別市消費生活モニター調査)

## 公民館講座

着付け教室に次いでください

着付け教室を次の日程で行います。

用意するものは、着付けに必要な用具一式と筆記用具です。受講料は無料で、申し込みは定員になり次第締め切ります。

▼中央公民館 三月十三・十四・十五日の午前十時から十二時まで 定員三十名 申し込み先市教育委員会社会教育課(電話5局2111内線352)

▼登別公民館 三月十六・十七・十八日の午前十時から十二時まで 定員三十名 申し込み先登別支所(電話3局1131)

▼登別温泉公民館 三月九・十・十一日の午前十時から十二時まで 定員三十名 申し込み先登別温泉支所(電話4局2068)

▼鷺別公民館 三月八・十一・十三・十五日の午前十時から十二時まで 定員三十名 申し込み先鷺別支所(電話6局6111)

▼ひまわり園 三月八・九・十一・十五・十六日の午後六時三十分から八時三十分まで 定員三十名 申し込み先ひまわり園(電話6局6111)

## 不用品ダイヤル市

5局2111内線2116

ゆずってください(買い)  
ベビーベッド、ピアノ、オルガン、買物用三輪自転車、サイクリン

## 火災予防



ら八時三十分まで 定員三十名  
申し込み先登別支所(電話6局6111)

ング用自転車、子供用三輪車、婦人用自転車、電動ノコ、ワイギアスケート(二十時)、つり竿(川づり用)、クーラーボックス  
おわけします(売り)  
あみ機、石炭用風呂釜とホーロー浴そう(二人用)

## 文芸

### 〈短歌〉

中村理津子  
幼しと思いし嫁も三年目は  
年越しそばの味もきまされり  
佐藤さつき

引き潮にとり残されて駆けゆき  
て寒の海面に浮きしゴメの子  
和泉 寿美

悲しみを語るには娘の幼くて  
今年も小さき日記購う  
大西 和子

雪凍みし階段登る老人を追い抜  
けず吾見守りてゆく  
宮武 春枝

昨日の続きなれども元朝を  
共にしたがいおろがみにけり  
ご寄贈ありがとうございます

社会福祉協議会(愛情銀行)へ  
▽現金寄贈 門脇・鹿内タリ  
▽ニシキ店様 ▽物品寄贈 丸  
山時計眼鏡店様、高松弘志様、  
北山剛様、匿名二件、▽古切手  
寄贈 北海道曹達楽業務課様、  
中山博様、上田商會様、市役所  
衛生課様、石崎水産様、高橋善  
史様、老人クラブ鷺菜会様、匿名一件



広報で……

サークル活動を紹介して

広報はほとんど目を通すようにしています。特に行事の案内とか婦人活動などは意識して見るようにしています。

その場で直接読まなくても、つづつおいて何かの機会に取り出して読むということもあります。たとえば、市の機構図とか予算などは固い感じがしますが必要だと思いますね。



登別に住んで3年になりますが、以前に住んでいた町では、乳児検診などは回覧板で回ってくるので見逃すこともあったのですが、ここでは広報を注意して見ていれば良いので助かります。

広報を読まれる方の大半は主婦だと思います。現在いろいろなサークル活動が行なわれていますが、その時の事情や定員になって打ち切られたりして参加できなかったことがあります。できれば、1度だけでなく何回かそういった催し物を開いていただきたいと思ひますし、広報でも気軽に参加できるサークルを紹介して欲しいですね。 中央町1-12-21 奏かほるさん

お知らせ

予防接種

◎接種上の注意 ・母子健康手帳を持参・接種前日は入浴し、当日は清潔な肌着を着用・体温は必ず家で計ってくる・子供の健康状態の良い時に接種する・接種前後に激しい運動をさせない・できるだけ母親が付き添う◎次に該当する人は、予防接種は受けられません・発熱している人、または著しい栄養障害者・心臓、じん臓、肝臓の病気にかかっている人・アレルギー体質または副反応をおこしたことがある人・種痘・BCG・はしか・ポリオの予防接種を受けて1カ月を過ぎていない人・風疹・はしか・水ぼうそう・おたふくかぜが治って1カ月を過ぎていない人・◎対象児 三種混合 第1期=生後24カ月～36カ月未満、第2期=生後36カ月～48カ月未満

Table with 3 columns: 場所 (Location), 受付時間 (Reception Time), 予防接種名 (Vaccination Name). Rows include ひまわり園, 鷺別公民館, 登別公民館, 中央公民館.

赤ちゃん検診

◎内容 診察、計測、栄養指導、生活指導 ◎用意するもの 母子健康手帳、換えオムツ、バスタオル ◎日程 3月24日(登別公民館) 受付時間12時15分～12時30分・登別、登別温泉地区の昭和52年11月、12月出生児 3月28日(鷺別公民館) 受付時間12時～12時30分・鷺別地区の昭和52年12月出生児 3月29日(中央公民館) 受付時間12時～12時30分・中央地区の昭和52年12月出生児 ※受付時間は厳守ください。※終了時間は3時頃になります。

健康相談

◎実施日・場所 3月2日…中央公民館、3月13日…鷺別公民館、3月23日…中央公民館、3月27日…登別公民館 ◎受付時間 午前の部…10時～10時30分、午後の部…13時～13時30分 ◎内容 午前…成人病相談、妊婦相談、家族計画相談、幼児相談(1歳以上)、午後…赤ちゃん相談(6カ月・9カ月児)・その他相談のある乳児(1歳未満) ◎用意するもの…母子健康手帳・バスタオル・換えオムツ ※午後の部終了時間は3時頃になる予定です。※貴重品等は会場にもってこないでください。

お知らせ

登別交通安全協会では、昭和五十三年度の優良運転者を表彰するため、次のとおり対象者を受け付けています。 資格 登別交通安全協会の会員で次の条件に該当する方 ◎無事故無違反の期間が引続き五年を有する運転者(五年表彰) ◎無事故無違反の期間が引続き十年を有する運転者(十年表彰) 受付先 鷺別・富岸地区に居住の方 大岩昌生(電話7045) 幌別地区に居住の方 岩間義三(電話2320) 中谷繁一(電話2254) 富浦登別地区に居住の方 吉田淳一(電話3111)

お知らせ

免許証の更新講習会

昭和五十三年度の自動車運転免許証の更新講習会の日程がきまりました。受講者は必ず運転免許証、講習案内書、筆記用具を持参してください。この講習会は、安全運転に必要な知識、交通法令の改正点など、優秀なドライバーとして、必要な知識を理解していただくため、更新者全員が受けられるよう、道路交通法で義務づけられています。 更新者は忘れずに受講してください。 更新講習会の日程は後日お知らせします。 ◎時間 18時から20時まで ◎場所 中央公民館二階ホール なお、十月以降の日程は後日お知らせします。

優良運転者の表彰

対象者を受付中

受付締切り 四月二十日(木) 不明な点は、市役所内の交通安全協会事務局(電話2111)内線240へご照会ください。 ◎家族ぐるみで加入しよう 市民交通傷害保険 保険に加入されました。このうち、保険の適用を受けた方は二十二人で、支払保険金額は二百二十八万円となっています。みなさんも、万が一の場合を考え、被災者のための保護対策として実施している市民交通傷害保険に加入しましょう。



家庭児童・母子相談

▽相談日・場所 三月十六日(木)中央公民館和室(定例日) 毎月第三木曜日、三月十七日(金)鷺別公民館和室(定例日) 毎月第三金曜日) 受付 午後一時～三時三十分 ▽相談内容 子供のしつけ、知能のおくれ、非行相談、視覚障害、言語障害、心身障害児施設入所、母と子の悩み、その他相談 希望者は事前に、市福祉事務所福祉課青少年婦人福祉係にご連絡ください。(電話5局211内線340)

休日・夜間の急病は

当番医か急病センターへ 休日や夜間、急に発病した市民のために、急患診療医(当番制)と室蘭登別急病センターが開設されています。次のことに注意してご利用ください。

急患診療医

急病センターの診療受付時間の開始までの間、室蘭・登別地区の医院などが当番制で急患診療医として急病患者の診療を行なっています。 当番医については、新聞に掲載されていますので、利用される時は新聞をお確かめください。

診療時間

平日 午後六時～午後九時 土曜日 午後一時～午後五時 日曜・祭日 午前九時～午後五時

急病センター

急患診療医の診療後は、室蘭登別急病センターが開設されています。 利用される時は次のことにご注意ください。 保険証を必ず持参すること 保険証を忘れず、全額自己負担になりますので注意してください。

診療時間

平日 午後十時～翌日午前六時 土曜・日曜・祭日 午後六時～翌日午前六時

場所 室蘭市東町五丁目六番十五号(大和保育所隣り)